

## 赤平市『認知症初期集中支援チーム』

認知症は早期診断・早期対応が重要で、初期段階で医療と介護とで連携しながら認知症の人やその家族に対して適切な支援をする必要があります。

平成27年から全国的に設置が進み、赤平市では平成30年に設置されました。

### 認知症初期集中支援チームって？

認知症専門医と看護師・作業療法士・保健師などの医療専門職、介護福祉士やケアマネジャーなどの福祉や介護の専門職の7名で構成され、認知症の相談を受けて、おおむね6カ月間、集中的に関わって自立生活をサポートします。



### 相談対象は？

年齢が40歳以上で認知症が疑われる方、または認知症と診断され、在宅での生活をされている方

❑医療サービス、介護サービスを受けていない、または中断している方(次のいずれかに該当する方)

- 認知症疾患の診断を受けていない
- 継続的な医療サービスを受けていない
- 適切な介護保険サービスに結びついていない
- 診断をされたが、介護サービスを中断している

❑医療サービス、介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状で、その対応に苦慮している方

まずは地域包括支援センターにご相談ください。

相談・問合せ  
地域包括支援センター  
☎32-0661

### 支援のながれ

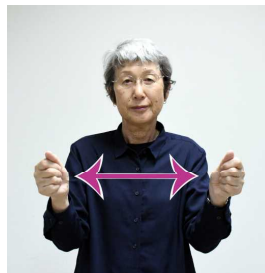
- ① 認知症が疑われる方や認知症の方のご家族、本人から心配や困りごとの相談や訴えを聞きます。
- ② 医療専門職と介護専門職の2名で家庭訪問します。
- ③ チーム員会議を開催し、支援の方針や支援計画を設定します。
- ④ 認知症の人やご家族に計画に基づいた対応の助言や医療・介護など、必要なサービスにつなぐサポートや、ご家族へのサポートを行ないます。
- ⑤ 必要なサービスなどにつなげたあとも、支援が継続されているか定期的にフォローします。

### 「卒業」



卒業証書を受け取るように

### 「式」



→ 巻物を開くように手を左右に開く

### 手話にチャレンジ



第56回

### 「卒業式」

手話モデル 伊藤 朱美 さん  
(赤平手話の会)



かまくらでみかんを食べたよ!

「コロナにまけるな！  
街に光を生もう!!」

(虹かけ橋付近)



2/10

北海道警察本部交通部長  
感謝状伝達式

(市役所)



2/8

(株)YAMADA・金滴酒造(株)  
純米吟醸「赤平」生原酒

(市役所)



2/7

若葉保育所 雪中レク

(若葉保育所)



1/28

社会福祉法人北海道光生舎が主催し、まちに明かりを灯すイベントが開催されました。今年の干支である虎も疫病退散の願いを託され、道行く人々を勇ましい姿で見守りました。

赤平市交通安全推進協議会が、死亡事故発生地点などを中心に再発防止のため令和3年中に行なった看板設置や啓発などの活動に対し、感謝状が贈呈され、赤歌警察署長から伝達されました。

赤平産酒米で生原酒造ったとして株式会社YAMADAの山田昌毅氏と金滴酒造株式会社の名取重和氏が畠山市長に報告しました。このお酒の酒粕も市にご寄贈いただきました。

若葉保育所で雪中レクが行われ、子どもたちはソリを使ったリレーや雪玉で的を倒す速さを競ったり、かまくらでみかんを食べたり、みんなで冬の外遊びを大いに楽しみました。



1/28



1/28